

水産物の市況について(令和3年7月及び令和3年8月)

—東京都中央卸売市場における令和3年7月(令和3年6月21日～令和3年7月20日集計)の市況と、
令和3年8月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和3年7月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月よりやや減少し、前年同月比よりやや増加しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや強含みで推移し、前年同月比では横ばいで推移しました。

II 令和3年8月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

全国的に小型サイズ主体の漁獲で、鮮魚サイズが少ないことから、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みと見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量は、引き続き銀さけ主体に横ばい、チリ側の輸出単価が上がっていることから、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

まき網での漁獲は低調な状態が続くと予想され、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格は全般的に魚体が小さいものの漁獲が低調であることから、高値・横ばいと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

低調な水揚げが続くと予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

外食需要が低調な状況が続くと予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格は冷凍めばち・冷凍きはだを主体にやや強含みと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

8月の一本釣りはお盆で休漁する船が増え、まき網はいわし・さば漁に切り替える船があることから、東京への入荷量は減少し、卸売価格は強含みと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	7月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
3年	30	1,091	31	989	29	1,026
前年	29	1,067	28	952	28	898

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	7月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	389	127	92	108
さけ類(平均)	1,024	116	124	108
(ぎんざけ塩蔵品)	860	98	115	91
(あきさけ塩蔵品)	590	68	87	92
(べにざけ塩蔵品)	1,295	99	109	108
(さけ類冷凍品)	1,058	121	132	117
さば(生鮮品)	448	128	119	111
するめいか(平均)	821	108	128	130
(生鮮品)	811	108	130	134
(冷凍品)	878	100	97	111
あじ(生鮮品)	695	147	98	119
まぐろ(冷凍品)	1,604	105	131	111
(めばち冷凍品)	1,170	108	132	108
(きはだ冷凍品)	1,210	122	147	137
(くろまぐろ冷凍品)	2,898	108	103	95
(みなみまぐろ冷凍品)	1,842	100	113	93
かつお(生鮮品)	321	99	57	69

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:7月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成28年～令和2年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 賛田、小山、小林

直通 03-3591-5613